※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和8年度 数学科

教科	数学	科目	数学 A	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	高等学校 数学 A（数研 数 A 104）						
副教材等	改訂版 サクシード数学Ⅰ+A（数研出版）， New Action LEGEND 数学Ⅰ+A（東京書籍）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返り、よりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・問題集用のノートを用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

2 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1). 図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2). 図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。

(3). 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

※令和４年度以降入学生用

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識･技能	b:思考･判断･表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	･図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理･法則を体系的に理解している。 ･数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ･事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現･処理したりすることに関する技能を身に付けている。	･図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力を身に付けている。 ･不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身に付けている。 ･数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ･問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価･改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	第一章 場合の数と確率	第1節 場合の数 1.集合の要素の個数 2.場合の数 3.順列 4.組合せ	a: 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則，積の法則などの数え上げの原則について理解するとともに，具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 b: 事象の構造などに着目し，場合の数を求める方法を多面的に考察することができるなど，様々な場合の数について，既習の内容に帰着し，適切に状況を判断して総数を求めることができる。 c: 図や表を作るなどの方法を積極的に活用したり，複数の求め方を考えたり，比較するなど主体的に考察しようとすることができる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ 振り返りｼｰﾄ

※令和４年度以降入学生用

		第2節 確率 5.事象と確率 6.確率の基本性質 8.条件付き確率 9.期待値	a: 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め,それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 b: 確率の性質や法則に着目し,確率を求める方法を多面的に考察することや,事象の起こりやすさを判断したり,期待値を意思決定に活用したりすることができる。 c: 事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し,問題解決にそれらを活用しようとしたり,粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ 振り返りｼｰﾄ
2学期	第2章 図形の性質	第1節 平面図形 1.三角形の辺の比 2.三角形の外心･内心･重心 3.チェバの定理･メネラウスの定理 4.円に内接する四角形 5.円と直線 6.2つの円 7.作図	a: 三角形や円に関する基本的な性質について理解することができる。 b: 図形の構成要素の関係などに着目し,新たな図形の性質を見いだし,その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 c: 事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し,問題解決にそれらを活用しようとしたり,粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている	課題考査 定期考査 確認ﾃｽﾄ	課題考査 定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ 振り返りｼｰﾄ
		第2節 空間図形 8.直線と平面 9.空間図形と多面体	a: 空間図形に関する基本的な性質について理解することができる。 b: 図形の性質に関心をもつとともに,それらの有用性を認識し,事象の考察に活用しようとしている。 c:様々な多面体についてオイラーの定理成り立つことを自ら確かめようとしたり,問題解決の過程を振り返って考察を深めたり,評価･改善したりしようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ 振り返りｼｰﾄ

※令和４年度以降入学生用

3学期	第3章 数学と人間の活動	第1節 整数の性質 1.約数と倍数 2.素数と素因数分解 3.最大公約数･最小公倍数 4.整数の割り算 5.ユークリッドの互除法 6.1時不定方程式 7.n進法	a: 数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解することができる。 b: 数量や図形に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察することができる。また，目的に応じて数学を活用して考察することができる。 c: 人間の活動における数学のよさを認識し，様々な場面で数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	課題考査 定期考査 確認ﾃｽﾄ	課題考査 定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ 振り返りｼｰﾄ
		第2節 空間図形 8.整数の性質と人間の活動 9.座標の考え方 10.ゲーム･パズルの中の数学	a: 様々な人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な部分を見出すとともに、その内容について理解することができる。 b: 数量や図形に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察することができる。また，目的に応じて数学を活用して考察することができる。 c: 人間の活動における数学のよさを認識し，様々な場面で数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	課題考査 定期考査 確認ﾃｽﾄ	課題考査 定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ 振り返りｼｰﾄ

※ 表中の観点について a:知識･技能 b:思考･判断･表現 c:主体的に学習に取り組む態度